

財団法人大阪府人権協会

## 2011年度 具体的事業報告

1. 人権啓発事業	
① 人権啓発事業の検討	1
② ホームページ発信事業	1
③ 人権ポケットエッセイ発行事業	2
④ 人権・同和問題担当者新転任研修事業	2
⑤ 人権啓発コーディネーター養成事業	2
⑥ 人権啓発ファシリテーター養成事業	3
⑦ 人権研修等講師派遣事業	5
⑧ 人権啓発記事作成事業	5
⑨ 人権教育・啓発指導者養成事業	5
⑩ 人権情報誌・人権教育教材作成事業	5
2. 人権相談事業	
① 総合相談窓口事業	8
② 人権相談・人権侵害事例集約・分析事業	9
③ 人権総合相談員養成事業	10
④ 「専門講座」(スキルアップ事業)	10
3. 相談業務連携事業	
① 融資等相談業務連携事業	13
② 人権相談業務連携事業	14
4. 援護福祉協働事業	
① 「刑余者」支援事業	15
② 高齢者孤独・孤立防止事業	16
③ 児童養護施設等の子ども及び経験者の支援事業	17
④ 保育所民営・委託化検討事業	18
⑤ 隣保館活性化事業	18
⑥ ハンセン病問題解決支援事業	18
⑦ 自殺予防事業	19
⑧ 有限責任事業組合大阪職業教育協働機構事業	21
5. ネットワーク推進事業	
① コミュニティづくり協働事業	22
② ネットワーク事業	23
③ 福祉サービス第三者評価事業	24
④ 被災者相談支援事業	24
⑤ 人権NPO等創造事業	25

本報告書は2011年4月1日から2012年3月31日までの事業実施結果を報告するものです。

2012年6月21日  
財団法人大阪府人権協会

## 【事業報告書】

事業名	人権啓発事業
事業目的	人権情報の発信や、人権学習・人権研修の内容づくりとその担い手養成、学習・研修の場への結合、ネットワークづくりなどを総合的に進めることで、人権啓発の推進をはかる。
事業報告	<p><b>1. 人権啓発事業の検討</b></p> <p>①部落問題に関する学習教材の検討          部落問題に関する学習教材の検討を、人権教材作成事業の中に位置づけて検討し、学習プログラム教材として作成した。</p> <p>②その他の人権学習にかかわる調査検討を、人権啓発事業の中で行なった。</p> <p><b>2. ホームページ発信事業（補助事業）</b></p> <p>①「人権を語るリレーエッセイ」の公開</p> <p>5月 第75回 阪野 学さん（児童心理療育施設「ひびき」施設長）          「子どもに寄り添いながら養護のあり方を模索する」</p> <p>8月 第76回 藤川澄代さん（大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部）          「施設で育った子どもたちの困難をアフターケアで支援する」</p> <p>9月 第77回 辻 晃さん（大阪府里親連合会会長）          「社会的養護にも家庭的な環境とかかわりが大切」</p> <p>11月 第78回 清水新二さん（奈良女子大学名誉教授）          「社会を生きやすくする努力はすべての自殺対策につながる」</p> <p>1月 第79回 渡辺 洋一郎さん（大阪精神科診療所協会会長）          「うつ病による自殺対策は正しい知識をもつことから」</p> <p>3月 第80回 弘中照美さん（多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモス理事長）          「自死遺族が安心して喪に服せる社会にしたい」</p> <p>②人権啓発情報誌などの人権啓発情報の公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおさか人権情報誌そうぞう第30号・第31号</li> <li>・人権学習シリーズVol. 8『私を生きる—アイデンティティと尊厳—』</li> </ul> <p>③人権侵害事例や人権相談に関する情報の紹介</p> <p>2010年度の人権相談、人権侵害に関わる情報（件数や事例等）</p> <p>④人権のまちづくり情報の公開</p> <p>大阪各地のまちづくり活動組織の活動紹介など、まちづくりに関する情報を「まちづくりプラットホーム」にて公開した。</p> <p>⑤大阪府人権協会が行う事業の周知</p> <p>大阪府人権協会が行う講座やイベントの開催情報を随時公開した。</p> <p>⑥大阪府人権協会の紹介</p> <p>大阪府人権協会の組織、事業計画、事業報告等を紹介した。</p> <p>⑦大阪府人権協会が加盟する団体の紹介</p> <p>「よりそいネットおおさか」の取り組みなどを紹介した。</p>

### 3. 人権ポケットエッセイ発信事業

内容：冊子『人権ポケットエッセイ』の販売の促進をはかる。  
『人権ポケットエッセイ<1>』及び『明日を生きる一人権ポケットエッセイ<2>』の販売を行った。  
販売：ア．関係団体への販売を進めた。  
イ．出版社のルートによる全国の書店での販売を進めた。

### 4. 人権・同和担当者新転任研修事業

日時：2011年5月26日（木）、6月1日（水）10:00～16:30  
会場：HRCビル  
対象：市町村人権協会・人権地域協議会、人権関係施設、青少年会館、  
行政の人権・同和担当部局等の新転任職員等  
内容：5月26日 ①人権・同和行政とは  
谷元達夫さん（大阪府人権協会常務理事）  
②大阪市浪速地区フィールドワーク  
浅居明彦さん（部落解放同盟浪速支部）  
6月1日 ①参加型で学ぶ部落問題  
柴原浩嗣さん（大阪府人権協会理事）  
②協働を育む会議と事業づくりの基礎を学ぶ  
ちよんせいこさん（人まちファシリテーション工房）  
参加者：22人  
参加費・資料代：6,000円

### 5. 人権啓発コーディネーター養成事業（受託事業）

人権問題に取り組む人の養成を目的に、大阪府「新しい公共支援事業－NPO等の活動基盤整備のための支援事業」を活用した「人権NPO等創造事業」として実施した。（人権NPO等創造事業で再掲）  
名称：「人権問題の解決に向けた一事業計画のつくり方講座」  
時期：2012年2月3・10・17日（金） 10:00～16:00  
内容：ア．事業計画を立てる手順を学ぶ  
イ．課題と目標の表現を学ぶ  
ウ．事業の手法を考える  
エ．事業に必要な人材について学ぶ  
オ．事業に必要な資金について学ぶ  
カ．事業計画書の作り方を学ぶ  
キ．事業計画の評価方法について学ぶ  
ク．事業計画を発表し、相互に評価する  
ケ．事業の手法で課題を解決することをふりかえる  
講師：田村太郎さん  
（NPO法人多文化共生センター・大阪代表理事・  
一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事）  
参加：16人  
参加・資料代：7,000円

## 6. 人権啓発ファシリテーター養成事業

### (1) 人権啓発ファシリテーター養成事業検討委員会の開催

人権・部落問題学習プログラム (RAAP) の開発とテキスト (教材) の作成を行い、これを進めるファシリテーターを養成するための検討を行った。

委員 上杉孝實さん (畿央大学、京都大学名誉教授)  
大谷眞砂子さん (八尾じんけん楽習塾)  
栗本敦子さん (Facilitator' s LABO (えふらぼ))  
森実さん (大阪教育大学)

#### 第1回検討委員会

2011年7月13日 (木) 10:00~12:00 大阪府人権協会内  
RAAP ファシリテーター養成講座第3期の開催について

#### 第2回検討委員会

2011年9月28日 (水) 18:30~21:00 大阪府人権協会内  
RAAP ファシリテーター養成講座第3期の総括と第4期の日程、  
RAAP テキストについて

#### 第3回検討委員会

2011年11月2日 (水) 18:30~21:00 大阪府人権協会内  
RAAP テキストについて

### (2) テキスト (教材) の作成

RAAP ファシリテーター養成講座で使用するテキスト (教材) であり、そのプログラムを広げるために、PAAP のプログラムと理論をまとめ冊子を、解放出版社から出版した。また、解放出版社によって書籍販売の流通ルートでの販売を進めた。

冊子名：『やってみよう！人権・部落問題プログラムー行動につなげる参加型学習ー』

### (3) 人権・部落問題プログラム (RAAP) ファシリテーター養成講座の実施

参加体験型人権・部落問題学習を進めるためのファシリテーターを養成する。

#### ①第3期 RAAP ファシリテーター養成講座

日時：2011年7月27日 (水)・28日 (木)、8月2日 (水)・3日 (木)・  
9日 (水)・10日 (木) 10:00~17:00

会場：HRCビル

参加・資料代：50,000円

参加人数：新規8人、継続7人

講師：上杉孝實さん (京都大学名誉教授)

大谷眞砂子さん (八尾じんけん楽習塾)

栗本敦子さん (Facilitator' s LABO (えふらぼ))

森実さん (大阪教育大学)

内容：人権・部落問題学習のプログラムを体験する。

ファシリテーターとしての理論やスキル、姿勢を学ぶ。

学習プログラムを実践する。

#### ②第4期 RAAP ファシリテーター養成講座

日時：2012年1月28日（土）・29日（日）、2月4日（土）・5日・  
11日（土）・12日（日） 10:00～17:00

会場：HRCビル

参加・資料代：50,000円 NPO・団体等は25,000円

参加人数：新規8人、継続7人

講師と内容は第3期と同様

第4期は、大阪府「新しい公共支援事業－NPO等の活動基盤整備のための支援事業」を活用した「人権NPO等創造事業」として実施した。  
(人権NPO等創造事業で再掲)

(4) RAAP ファシリテーター養成講座のフォローアップ

RAAP ファシリテーター養成講座のフォローアップ学習会を開催し、RAAP の実践報告や、経験交流を行うとともに、プログラム開発の研究として研究会を開催した。

①フォローアップ兼第5回「参加型で学ぶ」人権部落問題学習を考える研究会

日時と会場：2011年7月2日（土）13:30～17:00 HRCビル

参加者：14人

報告：岡田ひとみさん・澤井登志さん（RAAP 養成講座2期生）

アドバイザー：大谷眞砂子さん（八尾じんけん楽習塾）

栗本敦子さん（Facilitator's LABO（えふらぼ））

内容：ア. RAAP「人間関係と人権概念」の実践報告

イ. 報告をもとに実施上のポイントなどを考えるケーススタディ

②フォローアップ兼第6回「参加型で学ぶ」人権部落問題学習を考える研究会

日時と会場：2011年11月23日（水・祝）13:30～17:00 HRCビル

参加者：18人

報告：百田忠浩さん（RAAP 養成講座3期終了生）

アドバイザー：森実さん（大阪教育大学）

内容：①RAAPプログラム（部落問題）の実践報告

②報告をもとに実施上のポイントなどを考えるケーススタディ

(5) 「講師・ファシリテーターバンク（仮称）」とのつながり

人権・部落問題学習ファシリテーター養成講座を修了した人を対象に、「講師・ファシリテーターバンク（仮称）」への登録を検討した。

(6) RAAP の普及啓発

RAAP の普及・活用に向け、市町村・各種団体と連携しRAAP を活用した学習会を企画するとともに、養成講座の修了者を講師として活用する等、実践の場進めた。

①松原市人権教育市民セミナー連続講座の企画コーディネイトと講師紹介

2011年7月～11月の期間で5回実施

②長崎県人権・同和対策課主催ファシリテーター養成講座

企画相談と講師紹介

2011年7、8月4日間実施

③八尾じんけん楽習塾におけるプログラム（部落問題）実践

2011年9月14日 RAAP 修了者3人による実践

## 7. 人権研修等講師派遣事業

### ①職員講師派遣事業

職員を人権学習・研修の講師として派遣した。 133件

### ②講師紹介事業

ア. 人権学習・研修の講師を紹介し、講演の手続きを行った。 2件

イ. 講師紹介事業の要領を検討した。

## 8. 人権啓発記事作成事業（受託事業）

J Aグループ大阪人権推進連絡会からの受託として実施した。

内容：情報誌『J A大阪』の「ひゅーまんらいつ」の記事を作成した。

第1回 7月号 一人の人間として認めることから

第2回 11月号 すべての人に権利がある

第3回 12月号 人間を大事にすることが平和の基礎

第4回 2月号 どうしたら平等になるの？

第5回 3月号 多様な立場を認める

## 9. 人権教育・啓発指導者養成事業（受託事業）

人権啓発のための指導者養成講座のチラシ作成、講座資料の作成、講座の運営を行った。

### (1) 人と人との豊かな関係づくり講座

日時：2011年9月7日・14日・21日（毎水） 13:30～16:30

場所：ドーンセンター

参加者：17人

講師：遠矢家永子さん（特定非営利活動法人 SEAN）

内容：自尊感情とアサーションを学び、その上で社会と自分との関わりを学ぶ。

### (2) ファシリテーター・チャレンジ講座

日時：2011年10月19日・26日、11月9日・16日（毎水）

10時～16時

場所：ドーンセンター

参加者：28人

講師：栗本敦子さん（Facilitator's LABO（えふらぼ））

肥下彰男さん（大阪府立西成高等学校）

杉本志津佳さん（フェミニストカウンセリング堺）

内容：人権学習シリーズ vol.7 をテキストに、ファシリテーションの基礎を学び、ファシリテーターの実践練習を行なった。

## 10. 人権情報誌・人権教育教材作成事業（受託事業）

### (1) おおさか人権情報誌「そうぞう」第30・第31号の作成

発行部数：2000枚

#### ①「そうぞう」第30号（2011年10月発行）

特集「2010年度人権問題に関する府民意識調査」大阪府府民文化部人権室  
このひと 渡邊守さん（特定非営利活動法人キアアセット）  
地域での活動 特定非営利活動法人高齢者外出介助の会  
大阪府立松原高等学校「るるくめいと」の活動  
人権相談の現場から 同和問題に関する相談  
東日本大震災と人権 内田龍史さん（尚絅学院大学講師）  
施設紹介 大阪人権博物館リニューアルオープン  
大阪府では 原発事故による放射線被ばくの風評被害について  
大阪府部落差別事象に係る調査等規制等に関する条例が  
一部改正されました

お知らせ

まちを歩く 大阪にも原爆一模擬原爆投下跡地一  
人権啓発詩 「のびのびルームに入ったよ」「心のキズ」

## ②「そうぞう」第31号（2012年2月発行）

特集「自殺（自死）問題を考える」

深尾泰さん（NPO法人国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター理事  
兼所長）

吉田まどかさん（カウンセリングスペース「リヴ」代表）

人権随想 「東日本大震災と『封印された死』」

清水新二さん（奈良女子大学名誉教授）

この人 橘高千秋さん（NPO法人ゆめ風基金事務局長）

地域での活動 NPO法人レッド・ベレーズ

泉南市立鳴滝小学校「認知症キッズサポーター」

人権相談の現場から 自殺に関する相談

東日本大震災と人権 大阪府内被災者支援協議会

施設紹介

大阪府地域生活定着支援センター／ハンセン病回復者支援センター  
大阪府では

戸籍謄本や住民票の写しの「本人通知制度」

第30回人権啓発詩・読書感想文入選作品表彰式

人権学習シリーズVol. 8『私を生きる－アイデンティティと尊厳－』

お知らせ

まちを歩く 渡辺の地名をつなぐ一座摩神社一

人権啓発詩 「たからもの」「ほんのちょっとの大きな勇氣」

## （2）人権学習シリーズ vol. 8 の作成と vol. 2 の増刷

### ①人権学習シリーズ vol. 8 の作成

名称：人権学習シリーズ vol. 8 『わたしを生きる』

内容：人権概念の「尊厳」、「自分」、「人間関係」を取り上げ、単に知識  
として人権問題を学ぶのではなく、参加者の気づきを促し、問題  
を解決する力を育む参加体験型のプログラム集。

参加体験型学習を実施する際の留意点等、個別プログラム、資料

対象：成人等の人権学習・人権研修を進める方

仕様等：表紙カラー、内容2色、A4サイズで約56ページ

印刷部数：5,000部

教材作成委員会の運営：

ア．作成委員

李福美さん（一般財団法人八尾市人権協会）

井元哲也さん（ROS、QWRC<くおーく>）

栗本敦子さん（Facilitator's LABO<えふらぼ>）

柴原浩嗣さん（財団法人大阪府人権協会）

イ．作成経過

2011年9月28日 第1回作成委員会

10月12日 第2回作成委員会

10月31日 第3回作成委員会

12月1日 第4回作成委員会

2012年12月15日 第5回作成委員会

1月19日 第6回作成委員会

②人権学習シリーズ vol. 2 の増刷

人権学習シリーズ vol. 2 『働く』の内容修正を行い増刷した。

印刷部数：300部

## 【事業報告書】

事業名	人権相談事業
事業目的	<p>広く人権相談を受けるとともに、人権相談・人権侵害の状況を集約し、実態を把握する。また、市町村等における相談員の養成・育成を行う。</p>
事業報告	<p><b>1. 総合相談窓口事業（補助事業）</b></p> <p>(1) 専門的な人権相談窓口  人権に関わる総合相談の窓口を整備し、さまざまな人権相談に応じるとともに同和問題など専門的相談や市町村での困難事例への対応を行った。</p> <p>①相談窓口：毎週月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）9:30～17:30  ②相談方法：専用電話による電話相談、面談・ファクス、メール等での相談を実施した。（専用電話番号：06-6581-8634）  ③相談対応：人権相談に対する適切な助言ならびに情報提供を行うとともに、人権相談機関ネットワークなどさまざまな関係機関等と連携して、解決に向けた支援活動を行った。  ④相談件数：全体 333 件（延べ 688 件）  うち、電話（250 件）、面接（43 件）、その他（40 件）  ⑤相談確認会議：9 回（4 月 26 日、8 月 25 日、9 月 28 日、10 月 24 日、11 月 21 日、12 月 26 日、1 月 30 日、2 月 27 日、3 月 30 日）  ⑥手話通訳サービス等：手話通訳派遣 2 件</p> <p>(2) 市町村や地域の実施する相談事業に対する補完機能の発揮  市町村等が実施する相談事業への助言・スーパーバイズ等の要請に応え、相談の対応や助言を実施するとともに、市町村の相談担当者や相談員を対象としたブロック別ケーススタディを開催し、スキルアップや情報交換を行うなど、補完機能を発揮した。また、府主催の人権相談担当者会議への参画・助言等も行った。</p> <p>①市町村への助言等：44 件（大阪府 1 件、大阪市 2 件、茨木市 16 件、豊中市 2 件、泉南市 1 件、四條畷市 3 件、大東市 3 件、松原市 2 件、富田林市 1 件、泉佐野市 1 件、泉南市 2 件、島本町 1 件、豊能町 3 件、岬町 1 件、関係機関 5 件）  ②ブロック会議：北摂 2 月 1 日・河内北 2 月 1 日・河内南 2 月 8 日・泉州 2 月 8 日（参加者数 63 人）  （人権相談集約・分析事業と一体で開催）</p> <p>(3) 専門家等の協力を得た支援の実施</p> <p>①専門家への同行・相談支援：53 件（出前相談の件数を含む）  人権相談の中で、専門的支援を受ける必要がある場合に、弁護士や社会保険労務士等へ繋ぎ、協会職員が同行して相談・アドバイス（初回のみ無料）を受け、支援を行った。</p> <p>②出前相談：30 件  市町村や地域の要請や協力のもと、弁護士や精神保健福祉士等の専門家の協力を得て、市町村や地域での「出前相談会」（学習会含む）を</p>

実施した。

茨木市7件（4月・8月・9月・11月・12月・2012年1月）

泉佐野市8件（9月）（自殺防止と連携で開催）

柏原・藤井寺市5件（12月）（自殺防止と連携実施、2市合同開催）

池田市1件（2012年2月）、保健所1件（2012年2月）

豊中市1件（2012年3月）、泉南市1件（2012年3月）

HRC6件（11月、2012年3月）

(4) 「人権相談機関ネットワーク」の機能強化

「人権相談機関ネットワーク」（事務局：大阪府人権室・大阪府人権協会）の機能強化に向け、具体の相談を通じた加盟団体どうしの連携や当事者団体・支援団体等との連携に取り組んだ。

また、「第3回相談事業研究集会」を開催し、ネットワークを生かした相談事業の推進に取り組んだ。

① 「第3回相談事業研究集会」（人権総合相談員養成事業で再掲）

日時：2012年2月9日（木） 13:30～17:00

会場：HRCビル

参加者：102人

主催：財団法人大阪府人権協会

(5) 緊急一時支援事業

相談者に対する緊急支援が必要な際に、適切な支援を行う「緊急一時支援事業」は、該当者がなかった。

## 2. 人権相談・人権侵害事例集約・分析事業（補助事業）

(1) 人権相談等の集約・分析

人権相談機関ネットワーク加盟の各相談機関から、人権相談や人権侵害事象に関する件数や事例等の収集などの実態把握を行い、学識者等の参画を得て、集約及び分析を図るため、検討委員会を開催し、人権相談・人権侵害に関わる集約・分析を行った。また、学識者や関係機関の協力のもと、人権相談・人権侵害のそれぞれの分析作業を進めた。

① 相談事例や人権侵害事例の集約

人権相談事例集約：11月30日

差別事象集約会議：第1回11月14日、第2回2012年3月12日

② 「集約・分析検討委員会」の設置

検討委員会：第1回11月30日、第2回 2012年3月15日

人権相談事例集約ワーキング：第1回11月20日、第2回12月20日、  
第3回2012年1月25日、  
第4回2月29日

人権侵害集約ワーキング：第1回2012年1月17日、第2回2月17日、  
第3回2月28日、第4回3月5日

ケーススタディ（ブロック別）：北摂・北河内2012年2月1日、  
南河内・泉州2月8日（再掲）

(2) ホームページ等による府民への情報発信

集約された人権相談および人権侵害の実態についてまとめ、ホームページ等に掲載し、同和問題をはじめとする人権課題の解決の一助となるよう、情報発信をおこなった。

### 3. 人権総合相談員養成事業（補助事業）

#### ①「人権総合相談員養成講座」の実施

市町村において人権問題をはじめ様々な相談を担当する職員等を対象に、人権問題の基礎知識や相談に関わる基本的スキルを身につけるための講座を開催し、協会名による修了証を発行した。

時期：6月22日～8月31日の11日間（平日） 9:30～17:00

会場：HRCビル

対象：市町村人権相談業務担当職員、NPO職員等

内容：「相談の基本・応用」「人権課題学習」「各種制度学習」等、  
38講座・35テーマ

参加費：無料

参加者：受講申込66人、一部受講申込18人、前年度補講者3人

修了者：67人に修了証を発行

#### ②相談経験交流事業

年間の人権相談事業の取組みの集約として、地域におけるさまざまな相談員等を対象にした実践交流会を開催し、実践交流・スキルアップをはかるため、「相談事業研究集会」を開催した。

名称：「第3回相談事業研究集会」

日時：2012年2月9日（木）13:30～17:00

会場：HRCビル

講師：基調講演 岩間 伸之さん

（パーソナルサポートサービス検討委員会委員・大阪市立大学）

実践報告 池谷 啓介さん（暮らしづくりネットワーク北芝）

笠原 辰司さん（八尾市人権協会）

参加費：無料

対象：市町村相談担当者・相談員、地域における相談支援員等

参加者：102人

### 4. 「専門講座」（スキルアップ事業）

#### (1)「触法障がい者に対するSSTの実際（研修会）」

各種相談員の処遇技法を高めるために、SSTの理論とその具体的な進め方について演習形式で学ぶ研修会を、「よりそいネットおおさか」の協力を得て開催した。

日時：2012年3月18日（日）13:30～17:00・19日（月）10:00～17:00

会場：HRCビル

講師：角谷慶子さん、足立 一さん（SST普及協会認定講師）、

福永佳也さん（府立砂川厚生福祉センター）

参加資料代：15,000円（2日間）

参加者：参加者20人、修了者16人

（SST普及協会認定講師及び当協会理事長名で修了証書を発行）

#### (2)「自殺防止サポーター養成講座」（自殺予防事業で再掲）

自殺者の多くが、多重債務や生活苦等の生活問題、依存症やうつ病等の病気の悩み等の健康問題などが原因となっていることを踏まえ、地域の相談事業の中で発見し、専門機関への繋ぎや必要な支援を行えるサポーターの養成講座を開催した。

日時：第1回9月2日（金）、第2回9月9日（金）10:00～17:00

場所：HRCビル

内容及び講師：

1日目 9月2日

①「自殺と自殺の現状、自殺防止活動等」講師：深尾 泰さん

②「自殺問題と人権」講師：清水新二さん

③「依存症と自殺」講師：松本俊彦さん

2日目 9月9日

④「自死遺族の会」活動の取り組み 講師：吉田まどかさん

⑤「死にたいと相談されたら」 講師：深尾 泰さん

⑥ ロールプレイ 研修スタッフ

修了者数：43人

### (3) 『ひきこもり』支援相談員養成講座

「ひきこもり」はさまざまな要因によって、社会的参加を回避しており、原因は病気、いじめ、人間関係などが絡み合っている。こうした課題に対して、地域における相談・ネットワークの充実など適切な支援につなげる「ひきこもり支援相談員」を養成し、ネットワーク化につなげるため実施した。

日時：10月17日（月）、10月28日（金）10:00～17:00

場所：HRCビル

内容及び講師：

「当事者及び家族支援の実践から学ぶ」

西河 祥子さん、額田 陽子さん（NPO 大阪虹の会）

「地域支援におけるポイントを実践から学ぶ」

加藤 秀樹さん（NPO おおさか若者就労支援機構）

「ひきこもりの概念と相談対応について」

漆葉 成彦さん（佛教大学）

「就労支援等次のステップにつなげるために」

白水 崇真子さん（豊中市パーソナルサポートセンター）

「演習」

田中 俊英さん、浅利 紀久子さん（NPO 淡路プラッツ）

参加費：5,000円（1日受講は3,000円）

参加者：1日目40人、2日目36人

### (4) 「借金／多重債務者支援講座」（自殺予防事業で再掲）

借金・多重債務相談のノウハウを学び、生活再建に向けた継続した多重債務者支援・相談を、地域でのとりくめるよう地域の相談員・担当者向けの「借金／多重債務者支援講座」を開催した。

日時：3月9日（金）、16日（金）10:00～15:00

開催場所：HRCビル

内容及び講師：

1日目 3月9日

「司法書士会の多重債務者支援の取組」

吉田 史さん（大阪司法書士会）

「多重債務者支援と当事者」

弘中照美さんと当事者の方

（NPO法人多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモス理事長）

2日目 3月16日

「借金、多重債務など法的問題と自殺遺族支援」

生越照幸さん（自死遺族弁護団）

「返済困難者への具体的支援」

藤原由美さん（大阪府商工労働部貸金業対策課総括主査）

参加者：3月9日 21人 3月16日 23人

## 【事業報告書】

事業名	相談業務連携事業
事業目的	さまざまな社会情勢の変化を背景に、地域社会に生起する新たな人権課題への対応、相談、支援の取り組みを関係機関組織と連携・協働して強化する。
事業報告	<p><b>1. 融資等相談業務連携事業（受託事業）</b></p> <p>財団法人大阪府地域人権金融公社（ヒューファイナンスおおさか）の委託を受けて、融資につながる相談や人材養成等を行った。</p> <p>(1) 融資制度の活用に関する情報提供、研修会等の実施 市町村人権協会、人権地域協議会等の関係団体と連携し、総合相談事業の中で、融資制度についての情報提供を行った。 また、「金融経済教育」についての研修会等を実施した。 「借金／多重債務者支援講座」（自殺予防事業で再掲） 日時：3月9日（金）、16日（金）10:00～15:00 場所：HRC ビル 内容及び講師：</p> <p>1日目 3月9日 「司法書士会の多重債務者支援の取組」 吉田 史さん（大阪司法書士会） 「多重債務者支援と当事者」 弘中照美さんと当事者の方 （NPO 法人多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモス理事長）</p> <p>2日目 3月16日 「借金、多重債務など法的問題と自殺遺族支援」 生越照幸さん（自死遺族弁護団） 「返済困難者への具体的支援」 藤原由美さん（大阪府商工労働部貸金業対策課総括主査） 参加者：3月9日 21人 3月16日 23人</p> <p>(2) 相談事業の実施 市町村人権協会、人権地域協議会等の関係団体と連携し、地域での融資相談者や債務者（又はその保証人になろうとする人）等に対して、日常的な就労支援相談や生活相談等の総合的な相談を行った。 相談件数（教育相談）：42件</p> <p>(3) 集約・検討会議（ケース会議）の開催 融資制度の活用や返済状況等に関する集約を行い、課題整理とともに、効果的な情報収集や提供や、相談事業等の取り組みについての協議を行った。</p>

## 2. 人権相談業務連携事業（受託事業）

NPO法人ニューメディア人権機構の委託を受けて、ウェブ上での人権相談等を行った。

### (1) 「ウェブ相談強化事業」

NPO法人ニューメディア人権機構でおこなわれているメール相談への対応として、弁護士相談につなげるなど、相談支援やケース検討をおこなった。

相談件数：5件（5月、8月、10月、11月）

弁護士相談への誘導：1件

### (2) 「情報提供強化事業」

人権相談機関ネットワーク等の関係団体との連携により、今日的な人権侵害の状況等について、ニューメディア人権機構が運営するホームページ人権情報ネットワークふらっと「事例で納得 Q&A」の充実・更新をおこなった。

企画・編集会議：4月6日・21日、5月18日・31日、6月21日、  
7月13日、8月5日、9月27日、10月20日、  
11月16日、12月26日、2012年1月19日

連携団体：7団体等（セクシュアル・マイノリティ、外国人、HIV、  
犯罪被害者、雇用・労働）

### (3) 「インターネット上の人権侵害実態報告集会」

日時：2012年2月7日 14:00～17:00

会場：HRCビル

内容：記念講演「インターネットで中傷され続けた10年」

講師：お笑い芸人 スマイリー・キクチさん

聞き手：ライター 社納葉子さん

参加者：100人

## 【事業報告書】

事業名	援護福祉協働事業
事業目的	「貧困」や「孤立、排除」が進行する中で、社会的援護を必要とする人々への支援に関わって、人権の視点から社会福祉法人大阪府総合福祉協会等と連携し、「援護福祉協働事業」として取組み、セーフティネットづくりの一翼を担う。
事業報告	<p><b>1. 「刑余者」支援事業（一部補助事業）</b></p> <p>(1) 刑余者支援事業・「よりそいネットおおさか」事務局機能の発揮</p> <p>①よりそい相談活動 当協会の人権総合相談窓口事業の一環として、また、地域生活定着支援センター事業と連携し、相談支援の取組み等を行った。 127件（これまでの相談支援に対応した件数 286件）</p> <p>②事務局会議 第1回 7月21日、第2回 9月26日、第3回 11月28日、 第4回 2012年1月19日</p> <p>③定例会 5月19日、8月18日、10月20日、2012年1月19日、2月1日、 3月28日</p> <p>④ネットワークの拡充 加盟数 45団体・個人 8人</p> <p>⑤総会 日時：6月7日（火）13:30～16:30 会場：弁天町市民学習センター 参加者：67人</p> <p>⑥アンガー・コントロール研修（共催） 共催：西成区役所、ストロームの家、よりそいネットおおさか 日時：2012年3月7日（水）13:00～16:00 会場：西成区役所 内容・講師：「アンガー・コントロールの基礎」 大阪府立砂川厚生福祉センター 参加者：40人</p> <p>⑦一時保護（シェルター）検討事業 日時：8月18日（木） 会場：西成プラザ 内容・講師：「都市における困窮者支援や自立準備ホームの取組み」、 特定非営利活動法人「自立支援センターふるさとの会」 代表 佐久間 裕章さん 参加者：20人</p> <p>(2) 矯正施設退所者等の自立支援にむけた支援プログラム検討事業 (財団法人社会福祉弘済会助成事業)</p> <p>①矯正施設退所者等への相談・支援活動の集約・分析や課題等の調査（聞き取り）</p> <p>ア. 大阪府地域生活定着支援センター 12月28日 イ. 滋賀県地域生活定着支援センター 2012年1月8日 ウ. 兵庫県地域生活定着支援センター 2月8日</p>

- ②矯正施設退所者等の研究のためのサロン（よりそい定例会）の開催
- ア. 第1回  
 日時：10月20日（木）18：30～19：30 会場：西成プラザ  
 内容・講師：「HIV/エイズや性感染症の予防や治療、ケアを中心とした支援活動や性の問題」  
 MASH大阪 dista 支援部スタッフ  
 ブブ・ド・ラ・マドレーヌさん
- イ. 第2回  
 日時：2012年3月28日（水）18：30～20：00 会場：西成プラザ  
 内容・講師：「フランスにおける罪を犯した人の社会包摂」  
 大阪市立大学大学院 安田恵美さん
- ③矯正施設退所者等の課題等の啓発、報告書のまとめ
- ア. 矯正施設退所者等の課題等の啓発  
 全国各地でホームレス支援に取り組むための伴走型支援士の養成と連携した、刑余者支援とのかかわりに関する講座等の開催による啓発を実施した。  
 日時：2012年3月10日・11日 会場：HRCビル  
 参加者：98人
- イ. 矯正施設退所者等の課題等の報告書を取りまとめた。  
 発行部数：100部

## 2. 高齢者孤立・孤独防止事業（受託事業）

一般社団法人コミュニティ・マネジメント協会（CMA）が実施した「高齢者孤立・孤独防止」のための事業を一部受託し、地域における公営住宅の高齢者世帯等へのニーズ調査やドアセンサーの設置等を進めた。

- （1）高齢者等への聞き取り・ニーズ調査の実施及びドアセンサーの設置
- ①岬町営緑ヶ丘団地：10月27日、11月21日、2012年3月14日
  - ②堺市営大仙西団地：11月4日・16日・21日、2012年3月1日
  - ③和泉市営第一団地：11月29日、3月28日
  - ④大阪市営日之出住宅北1・2号館・第3改良住宅：  
12月15日・19日・21日・23日
- （2）地元協力団体・会議
- ①協力団体等  
 岬町、岬町人権協会、堺市、堺市人権地域協議会、大仙西まちづくり協議会、部落解放同盟和泉支部、幸・王子まちづくり協議会、CASEまちづくり研究所、西淡路高齢者の地域福祉を推進する会
  - ②協力団体の募集・協力団体との会議  
 5月20日、6月20日・21日・27日・28日、7月26日、8月29日、  
 9月6日・7日・27日、10月17日・31日、2012年1月11日、  
 2月16日・29日、3月6日
  - ③現地住民説明会・地元協力者説明会  
 9月8日・27日、11月4日・7日・29日、12月15日

(3) 調査等の協力数

- ①調査協力世帯数：137 世帯
- ②センサー設置数：190 か所
- ③協力住民数：延べ 292 人

**3. 児童養護施設等の子ども及び経験者の支援事業**

(1) 勉強会の開催

①勉強会

第1回「英国社会的養護と当事者エンパワメント:わが国への意味合い」

日時：7月5日(火) 19:00～21:00 会場：HRCビル

参加者：35人

講師：津崎哲雄さん(京都府立大学公共政策学部)

第2回「カナダにおける社会的養護で育った人たちのアフターケア」

日時：10月17日(月) 19:00～21:00 会場：HRCビル

参加者：21人

講師：上村宏樹さん(心理療法士、熊本学園大学)

第3回「野宿生活の方や、刑を終えて出所した福祉の支援が必要な方への相談活動から見えてきた社会的養護経験者たち」

日時：12月2日(金) 19:00～21:00 会場：HRCビル

参加者 18人

講師：益子千枝さん、平川隆啓さん

(よりそいネットおおさか・大阪府地域生活定着支援センター)

②現地視察

日時：10月14日(金) 10:00～12:00

会場：自立援助ホーム「そらまめ」「なでしこ」への見学

講師：藤川澄代さん

((社福)大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部)

(2) 学習会の開催

①学習会

名称：「こんな支援があったらいいな！」

共催：Children's Views & Voices (CVV)

日時：2012年3月25日(日) 13:30～17:00 会場：HRCビル

参加者：35人

内容と講師

第1部「育ち、生きていくために必要な“支援”について考えよう」

パネルディスカッション

パネラー 児童養護施設経験者 20代男性、10代女性

里親家庭経験者 20代男性

コーディネーター 新井智愛さん(CVV副代表)

アドバイザー 内田龍史さん(尚絅学院大学)

第2部「仕事 自立 未来を考える」

回転インタビュー

ファシリテーター 大谷眞砂子さん

(じんけん楽習塾、VAW研究会)

お話をしてくれる人

20代の児童養護施設経験者たちで、工場勤務、相談職、  
内装業、大学生等の若者

②相談会

「お金に関する何でも無料相談会」を同時開催し、社会的養護経験者からの相談を受けた。

#### 4. 保育所民営化等に対応した検討事業

(1) プロジェクト会議

昨年度に引き続き、公立保育所の民営化・指定管理者制度導入の動向を踏まえ、地域での「受け皿」づくりに向けた検討を行い、具体的に同和地区にある公立保育所を想定した「保育所指定管理者制度導入に関わる検討プロジェクト」(検討会)を開催し、地域における「受け皿」作りに向けた検討をおこない、提案書案の作成検討及び提案書を作成した。

日時：第6回4月14日、第7回6月24日

会場：HRCビル

(2) 地元学習会

プロジェクトの検討対象となった保護者や元保育士を交え、保育・子育てを取り巻く制度の動向や今後、求められる保育・子育てのあり方や保育像などの学習会を開催した。

①第1回

日時：5月18日(水) 19:00~21:00

会場：泉南市立人権ふれあいセンター

内容・講師：「子ども・子育て新システムとは」

田中文字子さん(子ども情報研究センター所長)

②第2回

日時：6月9日(木) 19:00~21:00

会場：泉南市立人権ふれあいセンター

内容・講師：「同和保育とは」

玉置章子さん(NPO法人ちゃいるどネット大阪)

#### 5. 隣保館等活性化事業

「隣保館等活性化研究会」まとめ(2009年3月)の具体化に向けて取り組みを進めていくため、大阪府人権福祉施設等連絡協議会と連携し、(社福)大阪府総合福祉協会による「今後隣保館が取り組むべき地域福祉課題を明らかにする実態調査」委員会へ参画し、調査の協力をおこなった。

①調査期間

11月~2012年1月

②調査委員会

第1回 日時：10月21日(金) 会場：HRCビル

第2回 日時：10月24日(月) 会場：大阪ベイタワーホテル

第3回 日時：2012年3月24日(土) 会場：HRCビル

第4回 日時：2012年3月29日(木) 会場：HRCビル

## 6. ハンセン病問題解決支援事業

- (1) ハンセン病回復者支援センターとの定期協議  
4月27日、5月31日、6月30日、7月27日、8月30日、  
9月29日、10月27日、11月29日、12月26日、2012年1月30日、  
2月29日、3月21日
- (2) ハンセン病問題講演会  
日時：2012年2月18日（土）13：30～16：30  
場所：大阪市立阿倍野区民センター  
参加者：400人  
実行委員会：10月20日、10月29日、2012年1月20日

## 7. 自殺予防事業（補助事業）

「大阪府民間団体自殺対策緊急強化事業補助金」及び「JR西日本あんしん社会財団活動助成」を活用し、自殺予防事業を進めた。

- (1) 相談会の実施
- ① 9月29日 泉佐野市、泉佐野市人権協会鶴原地域協議会  
「いのち、あんしん相談会」 弁護士相談8件
  - ② 9月30日 田尻町、田尻町人権協会  
「いのち応援相談会」 電話相談2件
  - ③ 10月3日 四條畷市、四條畷市人権協会  
「自殺予防いのちの相談会」
  - ④ 12月9日 柏原市、藤井寺市  
「いのち、あんしん相談会」  
弁護士相談4人、電話相談2件
  - ⑤ 2012年1月22日 茨木市  
「いのち、あんしん相談会」
  - ⑥ 2012年2月22日 堺市、堺市人権地域協議会  
「いのち、あんしん相談会」
  - ⑦ 2012年3月25日（児童養護施設等の子どもたちの支援事業で再掲）  
「お金に関する何でも無料相談会」 相談件数3件
- (2) 人材養成事業の推進
- ① 「自殺防止サポーター養成講座」（専門講座（スキルアップ）で再掲）  
自殺者の多くが、多重債務や生活苦等の生活問題、依存症やうつ病等の病気の悩み等の健康問題などが原因となっていることを踏まえ、地域の相談事業の中で発見し、専門機関への繋ぎや必要な支援を行えるサポーターの養成講座を開催した。  
日時：第1回9月2日（金）、第2回9月9日（金）10：00～17：00  
場所：HRCビル  
内容及び講師：  
1日目 9月2日
    - ① 「自殺と自殺の現状、自殺防止活動等」講師：深尾 泰さん
    - ② 「自殺問題と人権」講師：清水新二さん
    - ③ 「依存症と自殺」講師：松本俊彦さん2日目 9月9日

④「自死遺族の会」活動の取り組み 講師：吉田まどかさん

⑤「死にたいと相談されたら」 講師：深尾 泰さん

⑥ ロールプレイ 研修スタッフ

修了者数：43人

②「借金／多重債務者支援講座」（専門講座（スキルアップ）で再掲）

借金・多重債務相談のノウハウを学び、生活再建に向けた継続した多重債務者支援・相談を、地域でのとりくめるよう地域の相談員・担当者向けの「借金／多重債務者支援講座」を開催した。

日時：3月9日（金）・16日（金）10:00～15:00

開催場所：HRCビル

内容及び講師：

1日目 3月9日

「司法書士会の多重債務者支援の取組」

吉田 史さん（大阪司法書士会）

「多重債務者支援と当事者」

弘中照美さんと当事者の方

（NPO法人多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモス理事長）

2日目 3月16日

「借金、多重債務など法的問題と自殺遺族支援」

生越照幸さん（自死遺族弁護団）

「返済困難者への具体的支援」

藤原由美さん（大阪府商工労働部貸金業対策課総括主査）

参加者：3月9日 21人 3月16日 23人

(3) 鉄道自殺に対する実態解明による効果的な対策

鉄道自殺に対する状況分析や実態解明による効果的な対策と、ハイリスク地への重点的対策のために、利用者への「普及啓発」も加味しながら、鉄道各社とも連携して「ストップThe 鉄道自殺事業」に取り組んだ。

①鉄道自殺防止のための調査

阪神、阪急、南海、京阪、近鉄 電鉄会社にデータをいただき、解析委託先にてデータ解析作業を行った。

委託先：李 政元さん（関西学院大学総合政策学部教授）

②鉄道自殺防止委員会

第1回

日時：11月7日（月）14:00～16:00 会場：HRCビル

内容：解析担当者と電鉄会社担当者として鉄道自殺防止具体策の協議を行った。

第2回

日時：2012年2月17日（金）14:00～16:00 会場：HRCビル

内容：解析結果をもとに、鉄道自殺防止具体策の協議を行った。

③鉄道自殺調査データ解析報告会

日時：2012年3月22日（木）14:00～16:00 会場：HRCビル

内容：「鉄道自殺防止のための調査報告」 13人

報告：李政元さん（関西学院大学総合政策学部教授）

④鉄道自殺防止啓発ポスターの作成

鉄道自殺防止のための啓発ポスターを作成し、各電鉄会社に掲示の依頼を行った。

作製部数：B1版100部 B2版100部

⑤冊子の作成

ア.『大切な人を自死で亡くされた方へ』

内容：自死遺族の支援のための手続きや相談窓口案内等

作製部数：100部

イ.『鉄道自殺の波紋』

内容：鉄道自死の遺族等の体験談

作製部数：100部

(4) 自死遺族等の支援ネットワークの構築

ピア・カウンセリングの観点から、ホームページを活用した「語り合い」や「支え合い」ができる場づくりとネットワークづくりを進めた。

内容：ホームページの作成

「身近な人の自死を語る広場」

(5) 自殺防止電話相談の実施

国が行う「社会的包摂ワンストップ相談支援事業」に基づき、一般社団法人社会的包摂サポートセンターが実施する「よりそいホットライン」

(全国統一24時間フリーダイヤル相談電話)に参画し、自殺念慮者の相談を受けた。

日時：2012年3月11日から3月31日の間

毎週月曜日 12:00～17:00

相談員：2名

相談件数：60件

## 8. 有限責任事業組合大阪職業教育協働機構事業

有限責任事業組合大阪職業教育協働機構(A' LLP)に加盟し、A'ワーク創造館の運営に参画した。

2011年9月に、A'ワーク創造館の建物である大阪地域職業訓練センターを、独立行政法人雇用・能力開発機構が社団法人おおさか人材雇用開発センターに譲渡し、同年12月に、同センターから有限責任事業組合大阪職業教育協働機構(A' LLP)に、A'ワーク創造館の建物を譲渡された。

## 【事業報告書】

事業名	ネットワーク推進事業
事業目的	人権尊重の社会づくりを広げるために、さまざまな人権の取り組みや団体のネットワークを築き、協働の取り組みを積み上げることによって、差別のない人権尊重のコミュニティづくりや社会づくりを進める。
事業報告	<p><b>1. コミュニティづくり協働事業（補助事業）</b></p> <p>(1) 助成事業</p> <p>①助成対象事業および団体 助成決定事業及び団体 8事業（申込み19事業）</p> <p>②助成事業・団体</p> <p>ア. 小学生向け人権講座・セクシュアリティ入門DVD製作 （新設Cチーム企画）</p> <p>イ. 外国人も安心して医療・保健サービスが受けられる地域社会の創造事業 （みのお外国人医療サポートネット）</p> <p>ウ. ハンセン病問題啓発パンフレット検討報告書作成事業 （ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・関西実行委員会）</p> <p>エ. 子どもへの暴力防止プロジェクト （社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会）</p> <p>オ. 障害者の芸術文化モデル構築の為に第7回車いすダンス公演事業 （ジェネシスオブエンターテイメント）</p> <p>カ. 在日外国人家庭とつながろう「もろふく共育停留所」開設事業 （在日外国人家庭もろふく共育プロジェクト）</p> <p>キ. 非行の子どもたちの社会参加のために ～居場所の必要性と次への一歩事業～ （特定非営利活動法人関西こども文化協会）</p> <p>ク. 児童養護施設で育つ子ども若者の交流および対話・エンパワメント事業 （Children's Views &amp; Voices（CVV））</p> <p>③助成額 助成総額 300万円 総事業費の1/2で50万円を限度に助成した。</p> <p>(2) 事業説明交流会及び経験交流会の開催</p> <p>①事業説明交流会 日時：8月6日（土） 13:30～16:30 会場：HRCビル 参加者：7団体 17名</p> <p>②「人権のコミュニティづくり交流会（経験交流及び助成金紹介）」 日時：3月17日（土） 13:30～16:30 会場：HRCビル 参加者：22名</p> <p>(3) 助成事業実施報告書の作成 助成事業実施報告書を作成し、ホームページで公開した。</p> <p>(4) コミュニティづくり協働事業推進委員会の開催</p> <p>①コミュニティづくり協働事業推進委員会 委員：奥田 均さん（近畿大学人権問題研究所教授）</p>

高田一宏さん（兵庫県立大学准教授）  
田村太郎さん（NPO法人多文化共生センター大阪代表理事）  
加藤めぐみさん（社会福祉法人大阪府総合福祉協会）  
谷元達夫さん（財団法人大阪府人権協会常務理事）

## ②推進委員会の開催

### 第1回

日時：7月15日（金）13:30～15:30 会場：HRCビル

内容：助成事業の審査

### 第2回

日時：2012年3月6日（火）10:00～12:00 会場：HRCビル

内容：2011年度事業の報告

## 2. ネットワーク事業

### （1）「おおさか人権協会連絡協議会」の結成

市町村人権協会・人権地域協議会合同代表者会議および人権地域協議会代表者会議を発展させ、市町村人権協会・人権地域協議会や大阪府人権協会の間での連携と協力を進め、共同した取り組みを進めるために、市町村人権協会・人権地域協議会の協力のもと、「おおさか人権協会連絡協議会」を結成し、加盟団体の拡大、代表者会議の開催などに取り組んだ。

#### ①結成総会

日時：10月17日（月）14:00～16:00 会場：HRCビル

加盟数：40団体

#### ②代表者会議・学習会

日時：2012年1月17日（火）10:00～12:00 会場：HRCビル

内容：学習会「障がい者施策をめぐる情勢と課題

～改正障害者基本法と障害者総合福祉法～

北野誠一さん（内閣府障がい者制度改革推進会議構成員、

NPO法人おおさか地域生活支援ネットワーク理事長）

人権NPO等調査事業の説明

### （2）「大阪府人権協会20市町村連絡会」との連携

#### ①全体会議

日時：4月21日（木）15:30～17:00 会場：HRCビル

#### ②研修会・実践交流会

日時：8月10日（水）13:30～16:00 会場：HRCビル

#### ③幹事会

日時：5月20日、2012年3月23日

### （3）「まちづくり支援会議」

「公営住宅法改正に関わる学習会」

日時：9月27日19:00～20:30 会場：HRCビル

内容：「公営住宅法の改正について」

講師：西田昌子さん（大阪府住宅まちづくり部居住企画課）

### （4）「えせ同和行為等根絶大阪連絡会議」

#### ①発生報告受理件数

3件（延べ4件、うち回収した図書は4冊）

②事務局会議

日時：第1回4月27日、第2回5月13日

③総会・研修会

日時：5月13日13:30～15:00 会場：HRCビル

### 3. 福祉サービス第三者評価事業

(1) 福祉サービス第三者評価の実施

①大阪府より評価機関として認証を受ける（2011年3月22日付）

②第三者評価事業の実施 1件

社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会 鶴見橋地域在宅サービスステーション

評価結果をとりまとめる。（5月）

(2) 評価調査者の養成

「大阪府評価調査者養成研修」を4人が受講・修了し、評価調査者として大阪府に登録を行った。（現在8人登録）

### 4. 被災者相談・支援事業

#### (大阪府内被災者相談支援協議会への補助事業)

大阪府「新しい公共支援事業—新しい公共の場づくりのためのモデル事業」を活用し、大阪府人権室及び関西被災者支援ネットワークと「大阪府内被災者相談支援協議会」を結成して、大阪府人権協会の総合的・専門的な相談対応の実績を活かしながら、「東日本大震災」により府内に避難されている方々への「孤立防止や課題解決支援のための総合的相談・支援体制整備事業」を実施した。

なお、今後の相談は、人権相談等で対応を進める。

(1) 被災者向けフリーダイヤル電話相談から支援

①フリーダイヤルでの電話相談

内容：毎週火曜 14:00～20:00

相談件数：27件

②専門家の派遣

相談の中では専門家の派遣はなかった。

③Eメールでの相談 1件

④市町村や人権相談ネットワーク等との連携 1件

ア. 就労支援相談へのつなぎ： 1件

イ. 堺市に移転された方の就労等に関する相談があり、ご本人の条件に合う就労ができるよう、JOBプラザ OSAKA につなげた。

ウ. フリーダイヤル電話相談案内チラシやシンポジウム案内チラシを、市町村や人権相談機関ネットワークの各機関・団体等に配布し、啓発を依頼した。

⑤里帰り困難者等への同行支援

大阪府内被災者相談支援協議会で内規を作成し、申し出が2件あったが、協議の上、要件に当てはまらなく実施に至らなかった。

(2) 被災者どうしのコミュニティづくりの支援

- ① 孤立しがちな被災者へのつながりづくり  
他の被災者や支援の取り組みなどを紹介した。
- ② 被災者と地域とのつながりづくり  
地域での被災者支援の取り組みなどを紹介した。
- ③ ホームページの開設  
被災者支援のための情報を届けるホームページを開設した。

(3) 原子力発電所近辺からの避難者に対する偏見や差別の防止

- ① 「福島差別を考えるシンポジウム」  
日時：12月11日（日）13:00～16:00  
場所：難波別院（南御堂）・同朋会館講堂  
シンポジスト：桜井勝延さん（福島県南相馬市長）  
飯田清和さん（広島被爆体験語り部）  
村田三郎さん（阪南中央病院副院長）  
コーディネーター：奥田均さん（近畿大学人権問題研究所教授）  
参加者：約200人  
協力：福島県大阪事務所「物産展」
- ② チラシの作成 2,000部  
啓発イベント案内のためのチラシを作成した。

## 5. 人権NPO等創造事業（受託事業）

大阪府「新しい公共支援事業－NPO等の活動基盤整備のための支援事業」の委託を受けて、人権問題に取り組むNPO等（NPO法人やその他の法人、法人格のない団体、グループを含む）の活動基盤を整備するための支援事業を行った。

(1) 人権NPO等調査事業

- ① 人権NPO等調査の実施  
人権NPO等の現状とニーズを把握するための調査を実施した。  
調査対象：726団体  
認証のNPO法人、連携しているNPO等、人権相談ネットワーク団体、人権関係団体、市町村人権協会・人権地域協議会、市町村人権協会が連携する団体  
回答数：173団体  
調査内容：会員数、予算、財源、事務所、職員数、課題等  
調査方法：郵送と訪問により実施する。
- ② 報告書の作成  
冊子：『人権問題に取り組むNPO・団体・グループ等に関するアンケート集計報告書』  
作製部数：500部  
配付：調査協力団体、市町村人権協会・人権地域協議会、市町村人権担当課・市民活動推進担当課

(2) 人権問題解決のための事業企画研修（人権コーディネーター事業で再掲）  
「人権問題の解決に向けた一事業計画の作り方講座」

時期：2012年2月3・10・17日（金） 10:00～16:00

内容：ア．事業計画を立てる手順を学ぶ  
イ．課題と目標の表現を学ぶ  
ウ．事業の手法を考える  
エ．事業に必要な人材について学ぶ  
オ．事業に必要な資金について学ぶ  
カ．事業計画書の作り方を学ぶ  
キ．事業計画の評価方法について学ぶ  
ク．事業計画を発表し、相互に評価する  
ケ．事業の手法で課題を解決することをふりかえる

講師：田村太郎さん

（NPO法人多文化共生センター・大阪代表理事・  
一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事）

参加者：16人

参加・資料代：7,000円

(3) 人権問題解決のための講師・ファシリテーター養成事業

「第4期 RAAP ファシリテーター養成講座」

（人権ファシリテーター事業で再掲）

日時：2012年1月28日（土）・29日（日）、2月4日（土）・5日・  
11日（土）・12日（日） 10:00～17:00

会場：HRCビル

講師：上杉孝實さん（京都大学名誉教授）

大谷眞砂子さん（八尾じんけん楽習塾）

栗本敦子さん（Facilitator's LABO（えふらぼ））

森実さん（大阪教育大学）

内容：人権・部落問題学習のプログラムを体験する。  
ファシリテーターとしての理論やスキル、姿勢を学ぶ。  
学習プログラムを実践する。

参加・資料代：50,000円 NPO・団体等は25,000円

参加数：新規8人、継続7人

(4) 人権NPO等創造事業企画運営委員会

構成：4名

奥田 均さん

（近畿大学人権問題研究所教授／八尾市人権協会理事長）

佐々木妙月さん

（情報の輪サービス株式会社代表取締役／

NPO法人ZUTTO理事）

高見一夫さん

（中小企業診断士／株式会社ワーク21企画代表取締役）

田村太郎さん

（NPO法人多文化共生センター大阪代表理事／

一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事／

NPO法人edg e代表理事）

内容：

第1回企画運営委員会

日時：12月13日（火）10:00～12:00 会場：HRCビル

内容：ア．人権NPO調査事業の調査内容の検討

イ．人権NPO等研修事業の企画

第2回企画運営委員会

日時：2012年2月27日（月）10:00～12:00 会場：HRCビル

内容：ア．人権NPO調査事業の調査結果の分析と検討

イ．人権NPO等研修事業の報告

ウ．2012年度の人権NPO等創造事業の検討

資料 1 - 3

一般会計報告 (案)

資料 3

駐車場運営報告及び駐車場特別会計報告（案）

資料5

駐車場特別会計補正予算（案）